

首都圏氾濫区域堤防強化対策施工状況

流域の安心・安全を守るために

首都圏氾濫区域堤防強化対策について

利根川の上流部右岸及び江戸川の右岸堤防がひとたび決壊すると、その氾濫水は、埼玉県東部はおろか東京都東部まで達し、首都圏が壊滅的な被害を受けるおそれがあります。

そこで、国土交通省では、流域及び首都圏において一定の安全性を確保するため、平成16年度から堤防強化対策を実施しています。

【利根川水系における水位観測所の水位】

河川名	観測所名	最高水位		水防団待機水位(指定水位)(m)	氾濫注意水位(警戒水位)(m)	避難判断水位(m)	氾濫危険水位(危険水位)(m)	計画高水位(m)
		月日時	水位(m)					
利根川	上福島	10/12 23時	8.33	2.50	-	-	-	8.88
	八斗島	10/12 23時	4.07	0.80	1.90	3.90	4.80	5.28
	古戸	10/13 1時	7.53	1.50	3.50	-	-	7.68
	川俣	10/13 2時	8.00	1.60	3.20	-	-	7.46
	栗橋	10/13 3時	9.61	2.70	5.00	8.10	8.90	9.90
	芽吹橋	10/13 10時	7.88	2.00	5.00	7.10	7.70	7.94
渡良瀬川	藤岡	10/13 6時	7.55	2.60	4.10	-	-	7.84
	古河	10/13 9時	8.99	2.70	4.70	8.90	9.70	9.72
思川	乙女	10/13 1時	9.81	3.00	5.50	7.70	8.70	8.74
巴波川	中里	10/13 2時	5.27	2.00	2.70	5.10	5.50	5.51

【堤防強化対策区間】



令和元年東日本台風における出水状況

台風がもたらした降雨により、川俣水位観測所及び乙女水位観測所では計画高水位を超え、栗橋水位観測所においては最高水位9.61mを観測し、氾濫危険水位(8.9m)を約10時間に渡って超過する事態となりました。

川妻地区の堤防の現状及び整備予定

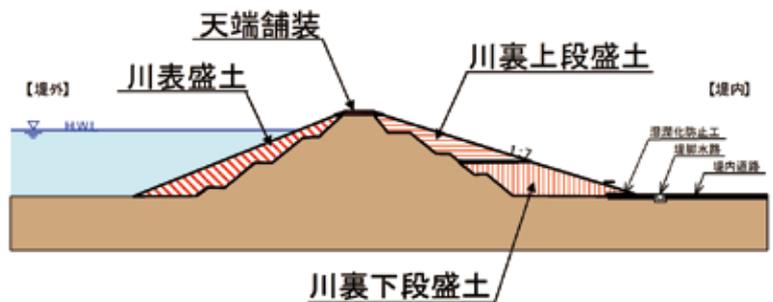
JR東北新幹線の橋梁付近については、令和2年度から3年度に特殊堤、堤防嵩上げ及び腹付け盛土を実施しています。また、その上流及び下流については、令和4年度以降、堤防嵩上げ及び腹付け盛土を予定しています。

JR東北新幹線箇所築堤工事施工状況

特殊堤、川表盛土及び川裏下段盛土を実施しています。

引き続き、川裏の上段盛土及び天端舗装を実施し、令和4年3月に完成予定です。

堤防標準横断面図(イメージ)



(下流から上流望む)

(上流から下流望む)



写真等提供 利根川上流河川事務所